

第10回通常総会を開催

プラトンホテル四日市で



令和3年6月4日（金）14時から、当協会の第10回総会をプラトンホテル四日市で会員30名の参加（委任状提出会員数295名）を得て開催いたしました。

今年の通常総会も、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、参加者を1会員1名に限定するとともに、従来実施していた賛助会員によるプレゼンテーション、講演会及び懇談会はすべて中止し、規模を縮小しての開催となりました。

総会は、伊藤副会長による開会宣言に続き、井上会長から新たな事業年度に向けた「会長基本方針」を踏まえた挨拶があり、続いて、三重県環境生活部廃棄物

令和2年度事業報告

- ①第9回通常総会を6月5日に開催
- ②理事会を4月22日（書面審議・決議）、6月5日、7月17日、10月30日、令和3年2月19日にそれぞれ開催。
- ③委員会、部会、専門部会をそれぞれ事業実施前等に開催。書面による情報共有を併用
- ④初任者研修会（9月17日）、実務者研修会（12月11日）、改正フロン法説明会（9月4日）、電子マニエスト操作研修会（10月13日ほか10回）を開催。
- ⑤安全衛生研修会（12月17日、令和3年3月5日）、県改正産廃条例説明会（9月1日、9月11日）、県土砂条例説明会（8月26日）、コンプライアンス現地研修会（10月9日）を実施
- ⑥環境美化活動に55社、延3,527人が参加、7.84tのごみを回収。
- ⑦災害廃棄物情報伝達訓練（令和3年1月21日）を協会協力会員193社を対象に、三重県、四日市市ほか4市町の協力を得て実施。
- ⑧ホームページの随時更新、会報誌（しろちどり）を3回発行し、法律関係、各種研修会等の情報を発信。
- ⑨県政への要望活動等（7月29日ほか2回）、行政懇談会（5月22日ほか1回）を実施。
- ⑩会員を対象に法運用等の相談窓口として、アドバイスを実施。
- ⑪紙マニフェストの販売、許可講習会（修了試験）の実施協力等

令和3年度協会役員の新体制

令和3年度第10回総会の第3号議案で役員の改選について提案され、賛成多数で可決されました。今回の改選では、現職の15名の理事のうち、森田亮一様が退任され、新たに田渕浩司様（住友電装株式会社生産技術本部安全環境部主幹）が新理事に就任されることとなりました。残る14名の理事及び2名の幹事は留任しております。

また、同日に開催された理事会において、令和3年度の会長等の選任に関する審議が行われ、現職の会長、副会長が留任し、引き続きその任を務めていくこととなりました。

令和2年度決算報告

経常収益の部	42,619,316
会費等	31,416,683
事業費等	11,202,633
経常費用の部	43,027,441
実施会計	11,942,273
その他会計等	31,085,168
正味財産期末残高	26,209,955

第10回通常総会にあたっての会長挨拶



去る令和3年6月5日に開催された第10回総会及び臨時理事会の決議において、引き続き会長の大役を務めさせていただくことになりました。ここで改めてご報告を申し上げるとともに、会員の皆様には、当協会の運営につきまして、これまでと変わらぬご協力をいただきますようお願いを申し上げます。

今回の第10回総会も、残念ながら、昨年と同様に簡素な形での開催となりました。コロナ禍の終息がなかなか見通せない中で、会員の皆様も、様々なところでご苦労をいただいていることだと思います。ぜひともこの難局を皆で克服し、来年こそは、通常の形で総会が開催され、あわせて、延期とした30周年記念事業を催行できればと願っています。

さて、私が会長に就任した令和元年度以降、「会長基本方針」を公表して、協会の運営に関し、どのような方向性をもって進めていくのか明らかにしているところです。総会の際にもお話ししたことですが、ここで改めてかいつまんでお話をさせていただきます。

令和3年度の「会長基本方針」は、副題として「コロナ社会に於ける新たなチャレンジ」を冠し、以下に述べるパフォーマンスを提案させていただいております。

まず、行政との連携につきまして、新しい提案も積極的に行いながら、情報発信や啓発事業に取り組んでいきたいと考えています。

次に、SDGsにつきましては、これから企業経営にと

って重要な要素となってきていることから、掲げられている17の目標を念頭に置き、廃棄物処理事業や社会活動において少しでも寄与できるものは進んで取り組んでいくようになしたいと考えています。

さらに、労働安全衛生は喫緊の課題であるので、委員会で議論を深めて、改善に資する取組をやっていきたいと考えています。

そして最後に、このコロナ禍において、社会のデジタル化が加速しておりますので、その良い点を取り入れ、リモート会議などを活用した業務の効率化や、行政情報の発信など、協会員の皆さんにも役立てていただくような活用法を取り入れていきたいと考えています。

これらの観点は、今後さらに進んでいくと考えられますので、取組を進めるにあたり、協会員の皆様には、引き続き、御協力をいただきますようお願いを申し上げます。

さて結びにあたり、私事ではありますが、グループ内での異動により、去る令和3年6月16日付にて三重中央開発株式会社専務取締役の職を辞すとともに、大栄環境株式会社副社長に就任いたしました。帰属は変わりましたが、今後も、協会会員企業として皆様とともに協会の発展と業界の振興に取り組んでまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いします。



第10回通常総会表彰を受賞された方々

通常総会の表彰受賞者

令和3年度の協会表彰を受賞されたのは次の方々です。
(敬称略)

1. 特別功労者表彰（3名）

森田 亮一 住友電装 株式会社
広野 四郎 一般社団法人 三重県産業廃棄物協会
吉田 紗佳 一般社団法人 三重県産業廃棄物協会



表彰を受ける森田前理事

2. 功労者表彰（3名）

堀川 勉良 井村屋 株式会社
伊藤 靖則 株式会社 イトジュ

世古口 真彦 株式会社 世古口建設南勢処分場

3. 優良事業所表彰（4社）

株式会社 テクノ中部 株式会社 稲本商店
株式会社 フジコウ 株式会社 芸濃

4. 優良従事者表彰（11名）

田村 克己 キンキ・パートナーズ 株式会社 島ヶ原リサイクル工場
岡田 一男 株式会社 タカミ 森本 浩一 山田清掃 有限会社
東本 信一 山田清掃 有限会社
濱口 由紀夫 有限会社 出馬重機

川本 友嗣 株式会社 エム・シー・エス

青木 清文 キクタ総業 株式会社

西村 真弓 東芝環境ソリューション 株式会社 三重事業所

林 純路 東芝環境ソリューション 株式会社 三重事業所

仮屋 亮 株式会社 ケー・イー・シー

矢田 恒一 エス・エヌ・ケー・テクノ 株式会社 北勢工場

5. 環境美化活動推進事業所表彰（5社）

富士電機 株式会社 鈴鹿工場 株式会社 タチオカ

太陽化学 株式会社 エス・エヌ・ケー・テクノ 株式会社

旭化成 株式会社 製造統括本部 鈴鹿製造所

各委員会・専門部会の開催状況等

各委員会の委員構成は、本来であれば理事の改選にあわせて再選を行っているところですが、本年度は、新型コロナ感染症蔓延の状況下であることや、役員体制に大きな変更がなかったことから、基本的に現行委員の構成を変更せず、但し、任期を1年間として、引き続き就任をいただきました。

各委員会では、本年度の活動を開始しておりますので、その状況について一部をご紹介します。

総務運営委員会

2回の委員会を開催し、来年度に延期した創立30周年記念事業のプログラム等について検討を開始しました。

適正処理委員会

1回の委員会を開催し、例年開催している、初任者研修、実務者研修、コンプライアンス研修を、新型コロナ感染症対策に留意しつつ実施することを決定しました。また、県の新しい循環型社会形成推進計画や新プラ法について情報共有しました。

排出事業者部会

書面にて情報共有を行い、優良産廃処理事業者の活用に関するアンケートを協会会員の排出事業者を対象に実施することとしました。

福利厚生委員会

第2次労働災害防止計画の2年目の目標について、初年度実績を基本に設定することとしました。

例年開催している、県内外研修会、ゴルフ大会は、新型コロナ感染症対策のため本年度は中止することとしました。

労働安全委員会

労働安全の向上を図るために、本年度は研修会を2回開催することとしました。

医療廃棄物専門部会

鳥インフルエンザ防疫対策の体制構築のため、県と共同して調査を行いました。